



2019年3月25日

各 位

上場会社名 古河機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮川 尚久
 (コード番号 5715)
 問合せ先責任者 経理部長 三影 晃
 (TEL 03-3212-7021)

減損損失の計上および2019年3月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年12月末閉館予定の古河大阪ビル(以下「大阪ビル」といいます。)について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失を計上することを決議いたしました。
 また、最近の業績動向を踏まえ、2019年2月8日(連結)および2018年5月10日(個別)に発表した通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

竣工から約50年が経過している大阪ビルにつきましては、建物や設備の老朽化が進んでいるため、2019年12月末を閉館予定として、2016年8月からテナントの皆様との退去交渉を進めてまいりました。

一方で、ビルの躯体の老朽化は、更に進んでいく状況であるため、競争力ある賃貸オフィスビルとして継続していくことは困難であると判断し、大阪ビルについて「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、帳簿価額の全額を減額し、連結決算、個別決算に減損損失15億61百万円を計上いたします。なお、この減損損失の計上が当社業績予想に与える影響につきましては、2.以降をご参照ください。

2. 2019年3月期通期連結業績予想の修正

2019年3月期通期連結業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月8日発表)	百万円 174,600	百万円 7,700	百万円 6,500	百万円 4,500	円 銭 113.80
今回修正予想(B)	174,600	8,200	7,100	3,800	96.10
増減額(B - A)	0	500	600	700	
増減率(%)	0.0%	6.5%	9.2%	15.6%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	167,695	7,820	8,105	4,774	118.16

3. 連結業績予想の修正の理由

前回(2019年2月8日)発表の業績予想において、金属部門の営業利益は為替相場や銅価格、金価格の動向が見通せないため、2018年11月7日発表どおりとしていましたが、為替相場は安定しており、金属価格も総じて堅調に推移していることから、増益となる見込みです。

以上の結果、連結全体の営業利益を上方修正し、これに伴い、経常利益も上方修正しています。また、古河大阪ビルの減損損失15億61百万円を特別損失に計上する結果、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正しています。

4. 2019年3月期通期個別業績予想の修正

2019年3月期通期個別業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2018年5月10日発表)	百万円 8,700	百万円 3,800	百万円 3,800	百万円 3,600	円 銭 89.10
今回修正予想(B)	8,700	3,800	3,800	2,600	65.75
増減額(B - A)	0	0	0	1,000	
増減率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	27.8%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	8,567	3,691	3,432	1,971	48.79

5. 個別業績予想の修正の理由

前回（2018年5月10日）発表の業績予想との比較において、古河大阪ビルの減損損失15億61百万円を特別損失に計上する結果、当期純利益を下方修正しています。

6. 配当予想について

直近に公表されている配当予想（1株当たり50円）からの修正はありません。

（注）本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上